

かがやき

2025年2月1日 発行
フランクフルト日本人国際学校
HP : <http://www.jisf.de>
E-mail : info@jisf.de

自信をもって次の学年に

校長 和智 重徳

先日は雪が降り驚かされましたが、暦の上では着実に春へと近づいています。ここ数日、朝の静寂の中に鳥のさえずりも聞かれるようになりました。日を追うごとに、子供たちの登校時間帯も明るくなり、寒さの中にも確かな季節の歩みを感じられる今日この頃です。

新しい年を迎え、新年を祝う日本の伝統文化に親しむことを目的に書き初めを行いました。1月20日から23日には書き初め展を開き、子供たちの力作を多くの保護者の皆様にご覧いただくことができました。

小学部では1月15日に餅つき大会を行いました。参加した全児童が交代で餅をつき、つくたてのお餅をおいしくいただきました。日本の伝統文化を体験する貴重な機会となりました。

多くの保護者ボランティアの皆様にご協力いただきましたことに感謝申し上げます。1月22日には縄跳び大会を行い、縦割り班ごとに記録の向上をめざしました。大会に向けての練習では、今年も上級生が下級生に跳び方を教えるなど、仲良く協力して取り組む姿が受け継がれていました。本校のよい伝統です。また、5・6年生の演技披露では、あや二重跳びや高速八の字跳びなど難易度の高い技もあり、下級生から大きな拍手が送られました。

中学部では、1月27日に外国語暗唱大会を開催しました。英語の暗唱やドイツ語のコントによる発表を1・2年生が行いました。今回の大会でも、かなりの分量の原稿やセリフを覚え、小道具を使ったり、身振り手振りを取り入れたりしながらのとてもレベルの高い発表が続きました。これもドイツにある本校ならではの行事です。

さて、今年度も残すところあと2か月、実質1か月半となりました。各学年での学習や生活のまとめ、締めくくりの時期となります。今年度も子供たちは、日々の学習や学校行事など、様々な活動や体験を通して、心も体も大きく成長してきました。年度末には子供たちみんなが、「実り多い一年だった」「できることに精一杯取り組んだ」と、この一年を振り返ることができるように、また、進級や進学に向けて前向きに取り組み、自信をもって次の学年に進んでいくことができるようにしていきたいと考えています。

本校教職員一同、今年度の残された日々、一日一日、一時間一時間を大切にして指導していきたいと思っております。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

日本の春の訪れを感じられる風物詩といえば「節分」ですが、かつて本校の保護者だった方から今年も「節分豆」が届きました。31年の長きにわたって続いており、日本から遠く離れたフランクフルトまで想いを寄せていただいていることに感謝申し上げます。

2月 如月(きさらぎ): FEBRUAR

- 2日 (月) 部活動
- 3日 (火) 中2: 職場体験MAZDA
小4: 現地校交流 (受)
- 4日 (水) 児童生徒朝会
小3: 現地校交流(受)
- 5日 (木) 小: 縦割り活動 部活動
- 6日 (金) 委員会活動
- 9日 (月) 部活動
- 11日 (水) 小1: 現地校交流 (受)
- 12日 (木) 小4: 現地校交流 (受)
中1・2: 学年末テスト (~16日)
- 16日 (月) 中: 百人一首大会 部活動
- 17日 (火) ファッシング(午前3時間授業)
- 19日 (木) 部活動
- 20日 (金) 小: 6年生を送る会
小5~中: 職業講話会
- 25日 (水) 全校朝会 職員会議
- 26日 (木) 小1~小4 ミニコンサート
縦割り活動(中学部合同)
- 27日 (金) 小6: 感謝の会

3月 弥生(やよい): MÄRZ

- 4日 (水) 児童生徒朝会
- 6日 (金) 委員会活動
- 9日 (月) 卒業式予行
職員会議
- 10日 (火) 幼稚部卒園式
卒業式準備
- 11日 (水) 卒業式
- 12日 (木) 修了式
離任式
- 13日 (金) 春休み (~4/8)

予定は変更になることがあります

